

2011年7月

社会科学系図書館における今後の工事とその影響について(お知らせ)

立教大学図書館

ロイドホール(複合棟3)に2012年秋に開館する中央図書館は、現在の社会科学系図書館と一体化した図書館となるため、連結工事や新規の書架設置など、社会科学系図書館内での工事が発生します。利用者みなさまにはご不自由をおかけしますが、ご理解ご協力のほどお願いいたします。

- 2011年3月末 ①B1F中央の閲覧席を撤去し、書架を設置しました
閲覧席をマキムホール(複合棟2)の中2階に移しました
マキムホール中2階を、自習スペースとしてご利用ください
- 2011年5-6月 ②B2書庫2層に書架を新設し、8月からの工事に備えました
- 2011年8月 館内での大規模な工事が始まります
- ③8月2日(火)・3日(水)は、社会科学系図書館は休館します
工事開始に伴い大きな資材の移動があり、危険なためです
- ④1F閲覧席が入口側半分だけとなり、狭くなります
- ⑤グループ閲覧室1・2は、なくなります
- ⑥キャレル1・2を、東側(キャレル1の側)に統合します
- ⑦B1Fメインカウンターを撤去し、1Fカウンターに統合します
B1Fで実施していたサービスはすべて、1Fにて実施します
- ⑧B1F書庫の1層・2層と、1F奥の集密書架を撤去します
資料は予め別の場所に移しておきますので、利用できます
- ⑨B2F書庫が立ち入り禁止になります
院生・教員の方も、書庫には入れなくなります
資料は1Fカウンターにて出納します
- 2012年2月 ⑩1F閲覧席が、さらに狭くなります
1Fカウンターは残し、B1Fへの通路は確保する予定です
- 2012年6月 ⑪1F閲覧席がなくなります
B1F・B2Fの資料の利用はできるようにします

※重複資料の扱い

中央図書館への資料集中に向けて、同じ資料は基本的に1キャンパス1冊までとする蔵書のスリム化を順次進めています。社会科学系図書館の蔵書についても、今回の工事を機に作業を開始し、学内他館(本館/人文科学系図書館/自然科学系図書館/新座保存書庫)との重複資料(約5万冊)を利用停止としました。OPACで確認の上、資料をご利用ください。

以上